

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年8月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104522
法人名	医療法人 サン・レオ会
事業所名	グループホーム ゲンキ館
所在地	鹿児島県鹿児島市上之園町29番地14 (電話) 099-258-7113
自己評価作成日	平成26年7月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心部に位置し利便性の高い場所ではあるが、小学校や、高校に囲まれた閑静な住宅地にある。

人としての尊厳を尊重するという理念に基づいて、懇切丁寧な介護を提供し、皆様と明るく落ち着いた日常がすごせるように日々努力している。

認知症の症状の進行した方でも、適切な対応ができるようにスタッフ全員研修を受け取り組んでいる。

階下の医療機関で機能訓練としてのリハビリ指導を受け、日常の介護に取り入れている。階下の医療機関は人工透析も行っているので、認知症で透析治療が必要な方の入居も可能である。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年7月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は鹿児島市中心部の住宅街に立地している。周辺には小学校や高校・商店街などがあり、JR駅や市電駅に近く利便性が高い。
- ・地域密着をめざし、町内会に加入し、近隣住民が行事などに踊りのボランティアなどで来所したり、町内の祭りや小学校の運動会・バザーにでかけたり、中学生の福祉体験学習も受け入れている。
- ・母体医療機関は利用者の健康管理や緊急時の対応などの医療連携体制が整っており、機能訓練としてのリハビリにも力を入れている。
- ・利用者個人々々をよく把握し、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、力量に応じた役割の分担を支援している。
- ・災害対策としてスプリンクラーや防火扉も整備され、定期的に避難訓練を実施している。さらに地区の消防分遣隊との連携も取れ、地域の協力体制もできている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「人としての尊厳を」大切にしながら家庭的な生活を目指す理念を作り、職員は常に理念を共有し支援している。	職員全員で話し合い、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を、玄関やホールに掲示している。申し送りや職員会議等で話し合い、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学校区の地域の施設として認知して頂ける様に働きかけ、小学校の児童クラブとの交流や学校行事に参加し交流を図っている。	町内会に加入し、地域の祭りなどの行事に積極的に参加している。事業所の行事の敬老会などには地域住民の参加がある。小学校の運動会やバザーの見学・中学生の福祉体験学習・児童クラブとの交流・ボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	街中の地域性で近隣の付き合いはなかなか出来ないが、民生委員、家族のつながりを大切に認知症の理解が出来る様になっている。また、中学校の福祉体験学習の場として提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族、民生委員の方々に評価結果の報告を行い意見や助言を頂き、日々の介護に活かしている。又会議に参加できなかった家族にも書面にて結果報告を行っている。</p>	<p>会議は定期的開催され、事業所の状況や行事の報告・外部評価報告を行い、意見交換をしている。行方不明防止についての助言などが出され、支援に活かされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>包括センターと、情報交換や連携を図り交流を行っている。市の窓口に出向き、相談や助言を頂き、入所者様の問題を解決出来る様に協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者とは、日頃から書類申請等で窓口に出向き、利用者の相談や情報を交換してアドバイスを貰っている。電話でも気軽に相談している。運営推進会議を通して協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入職時や定期的な内部研修を行っている。法人内の会議や身体拘束廃止委員会で事例検討を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会で、定期的な勉強会を実施し、身体的・精神的苦痛がないように研修している。身体拘束をしないケアの実践につなげている。昼間は玄関の施錠もなく自由に出入りでき、外に出かける利用者にはさりげなく声かけして寄り添い支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に内部研修を行い、又法人内の会議で意見交換を行い、虐待が見過ごされない様に事例検討を行い、お互い注意出来る環境、意識付けを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度を利用されていた入居者様の経験を基に、研修に参加したスタッフが中心になり基礎的な理解が出来る様にしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時や内容の変更時にご家族と個別に面談し、十分な理解と納得を得られる様に丁寧な説明を行い理解して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時や担当者会議、運営推進会議の際にご家族や他職種、外部からの参加を頂き、意見や助言を反映させ、サービスの向上につなげている。意見箱も設置している。	利用者とは日頃から思いを聞くようにしている。家族とは面会や行事参加時などに、日常の記録ノートを見せて話し合い、意見や要望が出やすいようにしている。利用者の作業参加への要望があり、その結果表情が明るくなったと喜ばれている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常業務の中で話しやすい関係を築き、週1回のミーティングや法人内の会議で問題を提案し、管理者や代表者が検討し運営に反映している。</p>	<p>代表者や管理者はミーティングや会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。管理者は個人的に相談に乗り、アドバイスをしている。利用者のよりよい日常生活を送る為に、職員の意見や気づき・アイデアが反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人の希望や条件に沿った就労が出来る様に努め、やりがいや責任を持って、各自の向上心を高められる様に情報提供に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種の研修や案内、スキルアップ、資格取得に取り組めるように情報を提供し、知識や技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>包括センターや、他事業所と情報交換や交流を図り、情報を得てサービスの向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	先入観を持たず、初回の面談時に本人の思いを汲み取る様に傾聴し、ご家族と密な連携を図り不安や、孤独感の少ない生活が送れる様な関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時家族の不安や、入所者様に対する思いを受け止め、施設見学をして頂き、雰囲気やサービスの理解と問題解決に向け、ご家族と一緒に協力出来る関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族と一緒に施設見学していただき、本人の思いや不安を受け止め、現状の把握を行っている。ご家族には他のサービスの説明も行い対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの経験や人生観を聴き出来る作業を一緒に行いながら多くの事を学び、お互いに支え合う関係を築ける様に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の絆を大切に、日々の作業や季節の行事を一緒に行いながら多くの事を学び、お互いに支え合う関係作りを築ける様に取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法人内の他事業所との交流や、地域の散髪屋さん、商店街への散歩など馴染みの関係を維持し、近隣の馴染みの方々との面会などが積極的に行える様に支援している。	事業所周辺に住していた利用者が多く、近隣の知人や友人の訪問がある。散歩中も知人や馴染みの商店が多く地域住民との継続的な交流を行っている。他事業所との交流もある。地域の理美容院や知人との継続的關係が途切れないよう支援している。墓参りなどは家族と一緒に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活で、お互い助け合いながら生活する事で家族の様な関係を築き、問題がある場合でも利用者間の雰囲気が和気あいあいとなり、孤立しない様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	馴染みの関係は退所後も継続出来る様に訪問や電話等で相談や助言を行い支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや希望の把握に努め、ご家族と相談し本人の意向に沿った、その方らしいケアが出来る様に努めている。	契約前の本人の暮らしや希望を本人や家族から聞き入れ、契約後も生活環境の変化とともに、思いや意向を日常生活の中で、言葉や表情から把握している。意思疎通が困難な場合は職員間で話し合い、情報を共有し本人中心の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や、ご家族から職業歴や生活歴の情報を参考に、得意な事や趣味が継続出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	大まかな日課や、週間予定はあるが一人ひとりの生活のペースを大切に、臨機応変な対応で心身の状態が安定する様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や、ご家族の希望や意向を基に、主治医やスタッフの意見、日々の記録やミーティングからの情報を参考にモニタリングを行い、現状にあった介護計画の作成に努めている。	本人や家族・その他必要な関係者の意向を確認し、担当者会議で話し合い、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。記録や報告等で日々モニタリングを実施し、3ヶ月毎に見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスや個別記録を行い、情報を共有できるように工夫している。日々の様子や少しの変化など見逃す事のない様に朝夕の申し送りを行っている。状態変化が見られる場合は計画書の見直しも行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関と医療連携が出来る、状況に応じて往診や看護師との連携も柔軟に対応している。また、リハビリの充実と他事業所との交流も図っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	学校区の地域性を活かし、小学校の行事に参加したり、近隣の散髪屋や花屋を利用し地域に認知して頂いている。外出時、介護タクシーの利用で安全な移動も出来る様に支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切にしている。他科受診は家族が同行されたり、状況によっては職員が同行するなど適切な受診が出来る様に支援している。歯科医院は連携が出来ており、訪問診療で対応が出来ている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。他科受診は家族同行の支援とし、受診結果は家族と事業所で共有している。歯科医の訪問診療もあり、連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常で看護師の協力や関わりが得られ、スタッフの意識や知識の向上に繋げている。週1回の定期受診や医療連携を図り、健康管理を行い、緊急時の24時間対応が出来る体制が出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、主治医より紹介状をもらい、情報の提供を行っている。日々の状態や支援に関する情報は介護情報提供書を作成し早期の治療や退院が出来る様に情報を提供している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の対応や看取りに関する指針を文章化し説明を行い信頼関係を築いている。その上でご家族の意向や希望を優先し、主治医やスタッフと連携を図り、可能な限り対処出来る様に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し主治医を含む関係者が連携して支援している。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し、定期的に内部研修を行っている。また、法人内の看護師から緊急時や初期手当の指導を受け、実践に活かしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力のもと、年2回避難訓練を法人内で実施。夜間時の時の通報や初期消火など指導を受けマニュアルを作成している。また、近所の家族にも協力をお願いしている。</p>	<p>年2回消防署の指導のもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや防火扉・災害通報装置等が設置されている。消防分遣隊との連携も取れ、地域住民との協力体制もできている。災害用の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	タフスは一人ひとりの人格を尊重し、馴れ合いからくる言葉使いや態度に注意している。排泄時や入浴時などの声掛けや人目も配慮し、プライバシーを損ねない様に努めている。	利用者の尊厳や性格に配慮しながら、馴れ合いにならないケアや言葉かけに努めている。入浴やトイレ誘導時などでは、プライドや羞恥心に十分配慮して対応している。言葉使いにも注意を払っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その日の気分で洋服を選んだり入浴、食事の時間などは柔軟に対応し、押し付けにならない様に、希望を取り入れ自己決定に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室で過ごす時間などは個人のペースを尊重しレクリエーションや作業療法など一緒に過ごせる時間も設け、その日の体調にあった過ごし方が出来る様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好みの洋服や髪型など、その方らしいお洒落が出る様に支援している。マニキュアやパーマ、毛染めも本人の意思を尊重し本人の希望に沿って行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中は楽しい雰囲気になる様に心掛け支援している。準備や片づけなど一緒に出来る事は可能な限り行っている。	医師の意見を取り入れて、栄養士が嗜好に配慮した献立を作っている。利用者の可能な範囲で準備や後片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生会や各種行事などでは、食事が楽しみなものになるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導の下、食事はその方にあった形態や量を提供し、栄養バランスや水分量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は毎回口腔ケアを行い、口腔内の清潔や状況の把握を行っている。提携の歯科医の指導や助言を受け定期的に研修も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄チェック表に記入、排泄パターンを把握し、声掛けや、トイレ誘導を行い日中はトイレを使用し、オムツ使用を減らし自立に向けた取り組みを行っている。	排泄パターンを把握し、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。オムツを減らす取り組みや排泄の自立を支援している。改善がみられた事例があり、本人や家族から喜ばれている。失禁時は、周りに気付かれないように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状況を把握し、週1回の主治医の受診時に指導や薬の処方を受けている。日常に乳製品や食物繊維の多い食事、水分量に気をつけ、適度の運動も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めているが、本人の希望に沿っていつでも入浴が出来る様に柔軟に対応している。時には大浴場を使い、気分転換を図っている。	入浴は基本的には週3回であるが、希望に添った入浴ができるように支援している。入浴時の羞恥心や負担感を感じないように配慮している。入浴を拒む利用者には、順番を変えたり大浴場を使うなど柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活パターンが出来ており、体調を考慮して希望に沿った起床時間や就寝時間の支援を行っている。昼食後は昼寝や休息を促して気持ちよく過ごせる様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人ひとりの薬の内容を処方箋で把握し、目的や副作用についても理解出来る様になっている。状態変化が見られたら主治医に報告し職員間でも情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	毎月のテーマや季節ごとの飾り付を一緒に作成し、作品を見る事で季節感や達成感を味わえる様にしている。その日の雰囲気や好みでレクリエーションを行い気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の協力をもらい墓参りや自宅の様子を見に出かけたり、外食や外泊も出来る様に支援している。また、年間行事予定を作成し、水族館や花見に出かける機会を設けている。	日常的に近隣の散歩や買い物に出かけている。計画を立てて小学校の運動会見学や夏祭り・花見・水族館などに出かけたり、家族の協力で自宅訪問や理美容室・墓参りにも出かけている。事業所に孤立したり、ストレスが溜まらないように、その日の希望を聞いたり、外出ができる機会を作り、ドライブや普段行けないところに行っている。家族と一緒に墓参りや外食にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方は財布を持って頂き、家族と定期的に内容の確認を行っている。家族よりお金を預かり、買い物や外出の際には本人が支払う様に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば友人や知人に電話を掛けたり、携帯電話を持たれている方は家族といつでも話ができる様に支援している。毎年賀状を家族に出し喜ばれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日常の生活感を感じるホールは明るく、季節感を採り入れ空気の流れ替えや温度調節にも気をつけている。共有部分は清潔で居心地の良い環境づくりを心掛けている。	共用空間は広くて明るく清潔である。温度や湿度に配慮し空調設備が整っている。窓からは街風景が見え、窓を開けて空気の流れ替えもしている。季節感を大事にした飾り付けがなされている。広い畳の部屋もあり、家庭的でくつろげる配慮がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや食事の座席は気の合う方々と一緒に過ごせ、工作やレクリエーションでもお互い助け合える様に工夫し配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人の希望を家族と相談し、今までの環境に近づける様に馴染みの物や、写真、位牌などを置き、安心して過ごせる様に工夫している。	本人や家族と相談しながら、家具や位牌・写真等、本人が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるような工夫がなされている。ホームで作った作品も飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、玄関や廊下など手摺を設置し、自立した生活が安全に過ごせる様に工夫している。また、本人の作品を飾り自分の部屋が分かる様に工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない